

# 自立活動指導案

授業日 令和7年1月29日(水) 5校時

学習者 Step up 学級4・5・6年生 9名

授業者 澤田 聡 石垣 沙也佳

## 1. 単元名 「みんなで長縄名人になろう」

## 2. 単元の目標

◎自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け止めたりしながら、話合いや活動に取り組む。

(2. 心理的な安定) (3. 人間関係の形成) (6. コミュニケーション)

◎友達のアドバイスを生かしながら、リズムよく長縄を跳ぶ。(4. 環境の把握) (5. 身体の動き)

## 3. 単元の目標を達成するために必要な自立活動の項目

	1. 健康の保持	2. 心理的な安定	3. 人間関係の形成	4. 環境の把握	5. 身体の動き	6. コミュニケーション
選定された項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情緒の安定に関する事</li> <li>・状況の理解と変化への対応に関する事</li> <li>・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との関わりに関する事</li> <li>・他者の意図や感情の理解に関する事</li> <li>・集団への参加の基礎に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚を統合的に活用した周囲の状況の把握に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事</li> <li>・作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の受容と表出に関する事</li> <li>・状況に応じたコミュニケーションに関する事</li> </ul>

具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○苦手な場面や不快な状況になった時の行動や言動。</li> <li>○次の活動に見通しをもち、自ら取り組む気持ちや態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の意見や考えを集中して聞いたり、受け入れたりする。</li> <li>○自分の考えを、言葉ではっきりと伝える。</li> <li>○発音に気をつけて会話する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しみながら体を動かす。</li> <li>○合図や縄の動きに合わせて、リズムよく縄跳びをする。</li> </ul>
----------	--	--	---

## 4. 単元計画

	学習内容	学習評価 (方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を理解し、見通しをもつ。</li> <li>・自分のいいところや苦手なところ目に向けて、これから頑張りたいことを選ぶ。</li> <li>・挑戦していきたい技を話し合い、選ぶ。</li> </ul> <p>★ ①ゴールまでの道筋 ★ ①個別目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しをもち、今後の自分のめあてをもつことができる。(発言・行動観察・ワークシート)</li> <li>○意見を出し合い、コミュニケーションを取っている。(発言・行動観察)</li> </ul> <p>← ①ゴール ← ②課題設定の工夫</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決めた挑戦したい技(8の字跳び)を、みんなで上手に跳ぶための方法について話し合う。</li> <li>・実際に跳んで試す。</li> <li>・意見を出し合い、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのように跳ぶとうまくいくか意見を出し合い、コミュニケーションを取っている。(発言・行動観察)</li> <li>○話し合ったことを意識しながら、技に挑戦することができる。(行動観察)</li> </ul>

3 ・ 4 ( 本 時 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決めた挑戦したい技（ダブルダッチ）を、みんなで上手に跳ぶための方法について話し合う。</li> <li>・実際に跳んで試す。</li> <li>・意見を出し合い、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのように跳ぶとうまくいくか意見を出し合い、コミュニケーションを取っている。（発言・行動観察）</li> <li>○話し合ったことを意識しながら、技に挑戦することができる。（行動観察）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで取り組んできた技を行う。</li> <li>・活動を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と声を掛け合いながら、長縄を跳んでいる。（行動観察）</li> <li>○動画を見ながら、長縄跳びの活動を振り返り、自分の頑張りや友達のよかったところを発表する。（発表）</li> </ul>



5. 本時で目指す子どもの姿

- みんなで長縄を上手に跳べるように、進んで友達に考えを伝えたり、受け入れたりしている。  
(2. 心理的な安定) (3. 人間関係の形成) (6. コミュニケーション)
- 友達のアドバイスを生かしながら、リズムよく長縄を跳ぶことができる。(4. 環境の把握) (5. 身体の動き)

6. 児童の実態

7. 仮説との関連

①一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋を作ったり見通しをもたせたりしやすくするための工夫(仮説1)  
単元の初めに、「ぼくのわたしのいいところリスト」を使い、自分のいいところや苦手なところに目を向けて、これから特にチャレンジしていきたいことを見つける活動を行う。これによって、より自分に合った個人のめあてを主体的に設定する手掛かりになるだろうと考えた。書くことに苦手意識のある児童が多いので、めあての設定は、いくつか候補がある中から選択できるようにする。また、授業の中では、板書を工夫して、活動に見通しをもち、安心して授業に参加できるようにしたい。

②「できた！わかった！成長した！」を実感するための手立て（仮説2）

長縄跳びは、Step up 学級でずっと継続して取り組んでいて、子どもたちも大好きな活動である。児童にとって身近で興味関心に沿った学習課題を設定することで、より主体的に活動に参加できるだろうと考えた。本時の学びが、今後の生活に生かせる内容になるという実感をさせていきたい。また、課題解決に向けて、児童同士が話し合い、学び合う場を設定した。他者と協働しながら課題に取り組むことで、自分たちの力で「できた！わかった！成長した！」という気持ちを実感できるだろう。

8. 本時の学習展開（4／5）

	児童の学習活動	□評価（評価方法）※指導上の配慮事項
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までに取り組んだ技（8の字跳び）で、ウォーミングアップをする。</li> <li>○本時の活動内容と活動のめあてを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ダブルダッチを上手にとぶ方法を話し合おう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のめあてを考え、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※学習活動について視覚的に見通しがもてるように、板書を工夫する。</li> <li>※いいところリストを見ながら、個人のめあてを考える。自分で考えられない児童は、項目にしたものを選択できるようにする。文字を書くことが困難な児童は、個別に対応する。</li> <li>※本時は話し合いに重点をおく。</li> <li>□個人のめあてを考え、発表することができる。（発言・ワークシート）</li> </ul>



